

年 組 名前 :

問1

「ナノバブル水」とは、
どのような水ですか。

.....
.....
.....

問2

なぜ、「ナノバブル水」は、
洗剤を使わなくても
高い洗浄力を持っているの
ですか。

.....
.....
.....

問3

「ナノバブル水」を
洗浄以外に、どのようにして販売することを
予定していますか。

.....
.....
.....

問4

この取り組みは「SDGs」の、「安全な水とトイレを世界中に」などを意識しています。
あなた自身にもできる取り組みを、考えてください。

.....
.....

いに落ちた。
同社は、ナノメートル（ナノは10億分の1）単位の気泡を含んだ「ナノバブル水」を製造する装置の開発を進めている。ナノバブル水は極小の泡が汚れを浮き上がらせ、洗剤を使用しなくても高い洗浄力を持たせることができるという。国連が提唱



【66】

富士忍野名水

目標：安全な水とトイレを世界中に

太陽光パネルは汚れが蓄積していくと発電量が低下するため、定期的な洗浄が必要。洗浄の際には洗剤を使用することが一般的で、土壌に洗剤の成分が浸透・蓄積する可能性があった。ナノバブル水は製造工程で薬品などを加える必要がないため、環境破壊などの恐れもない

小林社長は「土壌に浸透した洗剤成分は川に流れ込み、海への汚染にもつながる。装置を普及させ、少しでも環境に流出する洗剤の量を減らしたい」と話している。

する持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「安全な水とトイレを世界中に」などを意識した取り組みだ。
装置は幅約50センチ、奥行き約50センチ、高さ約70センチ。ホースをつなぎ水道水等特殊なパイプの中を通すと、ナノバブル水を製造できる。ナノバブル水にウィルスなどを不活性化させる効果があるオゾンガスを混ぜることもでき、洗浄力とともに殺菌効果を持たせることも可能（同社担当者）という。

装置の開発は東京都内の医療機器洗浄などを手がける企業との共同で進めており、6月末ごろまでの販売開始を目指している。太陽光パネルや外壁などの洗浄を手がける企業を中心に県内外に広く展開する考えだ。ナノバブル水は飲料水としても利用可能で、今後は忍野村の地下水をナノバブル水にしたミネラルウォーターの製造販売も予定している。高濃度の酸素が含まれていて、ナノバブルの研究をしている他企業との実験では「飲んだ後に血中の酸素濃度が高まった」（同社担当者）という。

「これだけ汚れを落とすことができれば、実用性は高い」。南アルプス市内の太陽光発電施設。飲料水販売などを手がける富士忍野名水（忍野村内野）の小林勇社長が見守る中、担当者が極小の気泡を含んだ水を太陽光パネルに吹き付けてワイパーをかけると、表面の曇りがきれ

洗剤不用 ナノテク洗浄

と話している。 〈山本昂輝〉

【所在地】忍野村内野3390の1
【代表者】小林勇
【沿革】2017年設立。忍野村の地下水を使用したミネラルウォーターの製造販売などを手がける。同社のミネラルウォーターは県内のホテルなどで利用されている。従業員16人。

(2023年2月7日付 山梨日日新聞7面)